

四日市版コミュニティスクール報告書（令和3年度総括）

四日市市立常磐西小学校

校長 諸戸 美香

1 コミュニティスクール（運営協議会）のねらい

①学校づくりビジョンや学校評価、子どもたちの様子について協議し、様々な視点からの意見や考えを交流しあいながら、「地域とともにある学校」の推進を図ります。

②学習支援、体験学習など、様々な教育活動に保護者や地域の方々との活動を継続・発展させ、「地域とともにつくる学校」の推進を図ります。

2 コミュニティスクール（運営協議会）の実践について

(1) 教育活動の実践事例

**1年生 ・サツマイモの収穫** 校区で農業をされている方の協力のもと、サツマイモの苗の植え付けを子どもたちが行い、畑で育てていただきました。夏には職員もツル切りやツル返しの仕方などを教わり、世話を行いました。秋には大きく育ったサツマイモの収穫を子どもたちが行い、大きなサツマイモをたくさん収穫できました。お世話になった方には1年生からお手紙を書いてお礼の気持ちを伝えました。



**2年生 ・公園たんけん** 自分たちの遊んでいる公園を紹介してからみんなで探検し、それぞれの地区の様子を知ることができました。ときわ3丁目の公園では遊びに来ていた小さな子と触れ合ったり、地域の方がみんなのために考えて貼ってある張り紙に気づくことができました。

**3年生 ・お店たんけん** 社会科の学習の一つとして地域の店の見学をさせていただきました。仕事の様子を見学させていただき、働く人の思いについてのお話も聞かせていただきました。



・**万古焼体験** 万古陶磁器振興協同組合連合会の方に教えていただき、万古焼のランプシェードの作成に取り組みました。粘土に触りながら形を作り、乾燥・釉薬・焼成のお世話をいただき、完成した作品を

届けていただきました。



**4年生 ・森林教育** NPO 法人「森林の風」さんに来校していただき、実際の木に触れ年輪や木の皮や香りについての話を聞き、森の働きを知りました。吉田山ではベンチを作る活動を行いました。



**5年生 ・防災教室** 常磐地区防災協議会の方の協力のもと、防災教室を実施しました。校地内に置かれている防災倉庫の中を見せていただいたり、学校が避難所になった時のスペースづくりや、トイレを実際に体験させていただきました。地域の方が人の命を守るために活動していることを知り、自分たちも地域の方とともに、「いざ」というときに命を守る行動ができるように、学習を深めることができました。

#### **6年生 ・吉田山整備活動**

NPO法人「森林の風」さんに指導していただきながら、吉田山の整備を進めました。木の種類や木を活用するお話を聞いた後、実際に吉田山に入り、森を守るためには下草がりや、枝はらいなどが必要だという学習をしました。常磐西小学校自慢の吉田山をみんなが安全に使えるように自分たちができることは何か考えることができました。



#### **図書ボランティアの活用**

年間を通して、図書ボランティアの方による季節や行事等に関連した掲示、図書コーナーの設置、また週に1度の朝の読み聞かせも感染症対策をして行っていただきました。これらの活動を通して子どもたちの本に親しむ機会を増やすことができました。

#### **(2) コミュニティスクール（運営協議会）の取組による効果**

保護者や地域の各種団体等と連携し、学校教育活動を展開することができました。さらに外部講師による体験活動では、その方の思いや願いにも触れることができ、より学習内容を深めることができました。特に1年生では畑をお借りしサツマイモを栽培・収穫して、子どもたちにとっては地域の方との楽しい交流の時間にもなり、より一層地域とのかかわりを深めることができました。また地域の方からも「子どもたちとかかわることで元気になれる」との意見をいただきました。また委員の皆さんには、子どもたちの様子を参観いただき、コロナ禍のなかで安全に気を付け学習を進めている様子を評価していただきました。

### **3 今後に向けて**

コミュニティースクール運営協議会の際には、学校づくりビジョンの取組や学校評価の結果について説明させていただいたり、子どもたちの活動の様子を参観していただいたりすることで、教育活動についての理解を図ることができました。感染症対策についての意見も多くいただき、「何よりも子どもたちが元気に学校生活を送れることが大切だ」という意見をいただきました。これからも学習支援をはじめ、様々な教育活動に保護者や地域の方々との活動を継続・発展させ、「地域とともに作る学校」を目指していきます。